

# 株主・投資家の皆様へ 報告書

平成25年7月期(第52期) 2012年8月1日▶2013年7月31日



証券コード: 6267

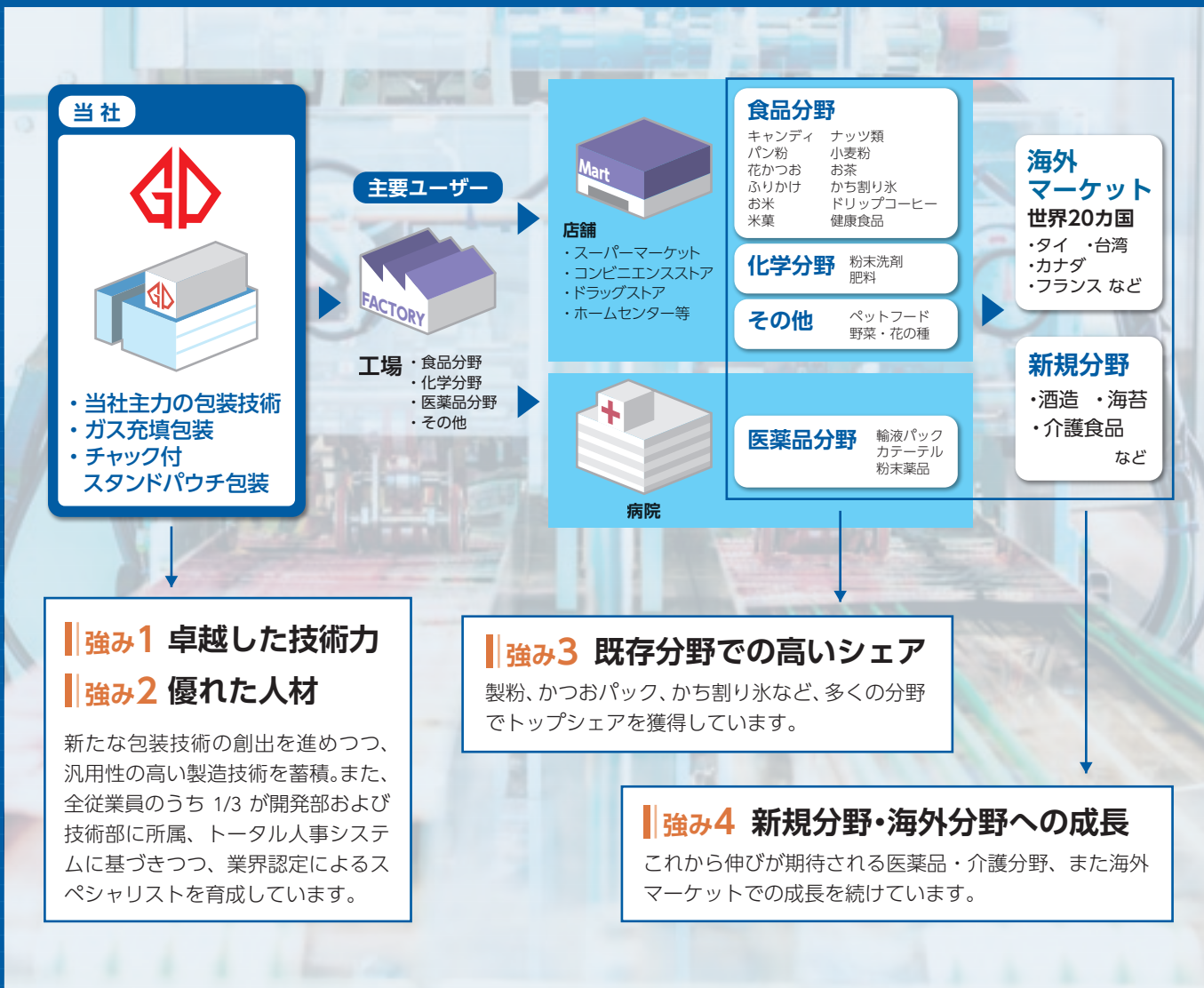


包装システムのトータルプランナー

**ゼネラルパッカー株式会社**

ゼネラルパッカーのビジネスモデルと強み

高いパッケージ技術が要求される分野で活躍しています。



海外市場と新規分野の開拓を強化し

新たな成長性を確保していきます。



代表取締役社長 梅森 輝信

社是

創造と挑戦 - 感ずる、信ずる、行動する -

経営理念

わが社はつねに、独創的な技術を活かし、顧客の要請に応える高品質な『商品』を提供する。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに、当社第52期（平成24年8月1日から平成25年7月31日まで）における営業状況と次期の見通しをご報告させていただきます。ご一読の上、当社事業への深いご理解のもと、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

当期の事業環境と営業活動の成果

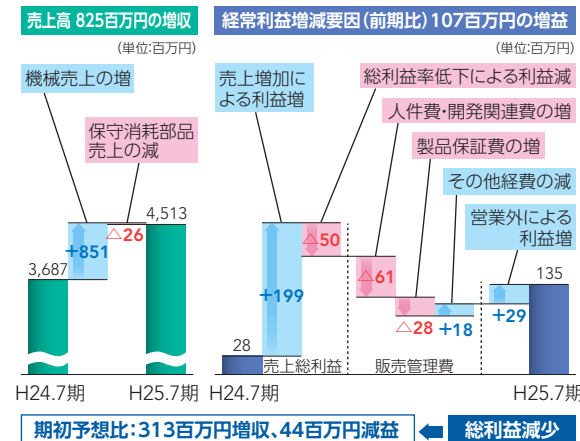
当期の包装機械業界は、主要顧客である大手食品メーカーの設備投資需要が回復を示し、堅調に推移しました。平成24年度（平成24年4月から平成25年3月まで）における当業界全体の生産高は前年度比0.9%増の3,864億円となっています（一般社団法人日本包装機械工業会 生産高統計より）。その中で表れているユーザーの変化として、従来の製品・技術活用だけでは対応が困難な、新たなニーズが増加傾向にあります。

当社の営業状況は、機械受注高は前期を下回りましたが、大型案件の増加により売上高は過去最高となりました。また、前述の新たなニーズに積極対応すべく、過去最高の7機種を新規開発し、売上計上しました。

主な増収要因は、国内における高価格の給袋自動包装機および包装システムの販売増です。業界別に見ると、食品業界向けの売上高が前期比27.3%増、化学関連業界向けが同63.4%増、その他業界向けがペットフード用を中心に同30.2%増となりました。

海外市場向け売上高比率は12.0%となりました。アジアでの販売台数減により、海外市場向け全体で1千4百万円の減収となっています。

### 平成25年7月期 決算のポイント



利益面は、一部高額案件において赤字および低粗利が発生したことに加え、開発費が大幅に増加したことから、期初の予想値を下回ったものの、前期の落ち込みから一定の回復を果たしました。

### 中期経営計画の目標修正と次期見通し

現在推進中の3カ年中期経営計画は、当期で2年度目を終えました。本計画は、新規分野と海外市場の開拓を重点テーマに、持続的成長に向けた事業領域の拡大を目指すものです。そして、計画最終年度の平成26年7月期における「売上高4,400百万円」「営業利益245百万円」「経常利益250百万円」「当期純利益150百万円」の達成を業績目標に掲げてきました。

このうち売上高については、需要の堅調により、ほぼ計画通りに推移する見込みです。しかしながら利益面は、高額案件で低粗利実績が複数発生し、また、積極的な新機種開発の推進により研究開発費が当初計画より増加したことから、2期連続で計画を下回っています。

最終年度となる次期は、収益性の向上が見込まれるものの、引き続き研究開発費の増加を予定していることから、売上高を除く本計画の業績目標を下方修正し、「営業利益195百万円」「経常利益200百万円」「当期純利益120百万円」と再設定しました。

しかし、本計画に掲げた経営ビジョンと基本戦略、

## 開発の状況

### シーズとニーズの両面からの開発を推進中

特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種開発が中心になりました。

H24.7期実績 (売上:計4台)	既存分野向け1機種	製粉
	新たなマーケット向け2機種	酒造、海苔
H25.7期実績 (売上:計8台) 売上高 516百万円	既存分野向け5機種	食品全般、鯉節、製菓
	新たなマーケット向け1機種	介護用食品(新方式)
	海外マーケット向け1機種	ペットフード

新機種の拡販

H25.7期  
売上1台

受注残3台

開発件数は  
過去最高

高精度充填給袋  
自動包装機  
GP-5200  
/5300型

GP-5300型▶



世界最速製袋自動包装機  
GP-C7型

経営施策に変更はありません。引き続き各施策のさらなる強化とスピードアップに努めてまいります。

次期の見通しとしては、足もとで中小型案件の需要が回復しつつあり、受注の増加が期待できる状況ですが、期初の受注残高が前期比547百万円減少しているため、減収を予想しています。利益面は、人件費など販売管理費の増加を利益率の改善によってカバーし、ここに挙げた業績目標値となり、増益を予想しています。

### 今後の成長に向けた経営戦略

新たな成長性の確保に向けて、当社は包装システムの提案力強化と、海外マーケットを含む新規顧客の開拓を推進し、同時に積極的な新機種開発を行っています。

包装システムの提案力強化では、3千万円以上の高額システムの受注拡大に努めており、資本業務提携先であるワイ・イー・データグループのロボット応用システムも含め、順調な実績を上げています。今後も、更なる大型システム案件の受注に取り組ん

でいきます。

新規顧客開拓の強化では、食品を中心とする既存分野に加え、自動車部品、造幣、酒造といった新たな分野への展開を進めています。引き続き展示会出展やインターネットでのPRによる見込み客数の増加を図りながら、企画提案営業に注力していきます。また、海外マーケットでは、市場別の販売チャネルを拡大するとともに、ペットフード向けの受注活動を積極化していく考えです。重点市場としてアジア市場における受注の大幅拡大を目指します。

開発・技術戦略では、現在シーズとニーズの両面から機種開発を進めています。次期はさらなる開発強化に向けて、人員増強と開発費用の増額を計画しており、売上高研究開発費比率は5.5%を予定しています。

当社は、今後とも食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会的貢献を果たせるよう、努力を重ねてまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ゼネラルパッカー ここがポイント

ゼネラルパッカーの特長を  
一歩踏み込んで解説します

# “粉体のゼネラル”の粋を集めた 高精度充填包装機 GP-5200/GP-5300

### 包装工程に究極のコスト削減をもたらす先進技術

現在、食品メーカーなど輸入原材料を加工する業界では、円安による原材料価格の上昇が利益を圧迫しており、コスト削減対応が喫緊の課題となっています。

ここにご紹介する製品は、包装工程に究極のコスト削減をもたらすために開発された高精度充填給袋自動包装機です。従来の充填機構では、容量不足を回避するために、規定容量より余分に充填する必要がありましたが、当製品の高精度な充填機能はこの量を極めて少量とすることで、コスト削減に寄与します。

「GP-5200」は、新正味充填方式を採用するとともに、精度重視の正味充填と速度重視のパルス充填を兼用させ使い分けることができます。また「GP-5300」は、機械の中で計量できる機能を搭載し速度アップを図る一方、粗充填と補正充填を組み合わせることで、歩留まりを最大限に向上させます。その上、製品の切替時に無駄のないよう残量排出機構を組み込みました。

また、操作性に優れた大型タッチパネルの採用や、商品登録機能およびアイテム検索機能の標準装備など、一歩先を行くユーザービリティも大きな特長です。



▲GP-5300  
特許出願中

爪ユニット上昇機構を採用することで、オーガー充填機ホッパー内の製品を無駄なく使い切ることが可能となりました。

**GP-5200**  
正味充填式給袋自動包装機  
最高 40 袋/分 (充填物による)

**GP-5300**  
補正充填式給袋自動包装機  
最高 55 袋/分 (充填物による)

### 原料高時代に対応した 究極の高精度充填機6つの特長

- 1 汎用性**  
幅広い袋サイズに対応
- 2 清掃性**  
爪ユニットが工具レスで取り外し可能
- 3 操作性**  
大型タッチパネルを採用
- 4 安全性**  
天井カバー標準装備。  
安全カバーは環境ホルモンを考慮して、PET 樹脂を採用
- 5 商品登録**  
標準で 300 アイテムまで登録可能
- 6 アイテム検索機能 (Option)**  
バーコード・商品コード等でアイテム検索が可能

# フロンティア レポート

中期経営計画の柱の1つ、海外マーケット開拓  
世界約20ヶ国に及び海外納入先から  
特に重要な“フロンティア”をお伝えします



### 市場ニーズを見極め、現地企業からの受注獲得へ

現在推進中の第3次中期経営計画では、事業領域のさらなる拡大に向けて、海外マーケットの開拓を図り、特に中国および東南アジア市場への展開を強化しています。その中で、経済成長著しいマレーシア・インドネシアは、タイに次ぐ重点ターゲットに位置付けています。

当社にとっては、タイに比べて新しい市場であり、5年ほど前から受注が始めました。今のところ、当社が得意とする高品質・高機能な機械への需要については未知数な部分が多く、また、国ごとに求められる仕様がまちまちで、その国の好みや習慣、品質に合わせた包装機が必要とされます。引き続き市場ニーズを慎重に見極めながら、現地企業からの受注獲得を狙っていきます。

最近の販売実績は、マレーシアで第50期に2台（現地食品メーカー）、第51期に2台（現地食品メーカーと日系医療品関連メーカー）、インドネシアで第51期と第52期に各1台（いずれも日系食品メーカー）となっています。今後は販売チャネルを拡大しつつ、市場を積極的に開拓してまいります。

## No.002 マレーシア・インドネシア Malaysia・Indonesia

ASEAN主要国として東南アジア地域の経済成長を牽引する2つの国、マレーシアとインドネシア。両国はカリマンタン島（ボルネオ島）で国土を広く接し、ほぼ同じ言語が用いられ、ともにイスラム教徒が多くを占めるなど、文化的にも近い面が見られます。

人口約2,900万人のマレーシアは、経済規模は小さいながら一人当たりGDPが高く、人件費も高水準。農作物や鉱産物の輸出、観光業への依存から脱却し、近年はアジアにおけるIT先進国を目指しています。

一方、インドネシアの人口は2億3千万人を超え、世界第4位。主要産業を国有化し、保護政策の下で工業化を推進してきた結果、急速な発展を遂げました。日系企業によるインドネシア進出も拡大しています。



### マレーシア・インドネシアでの主力機種

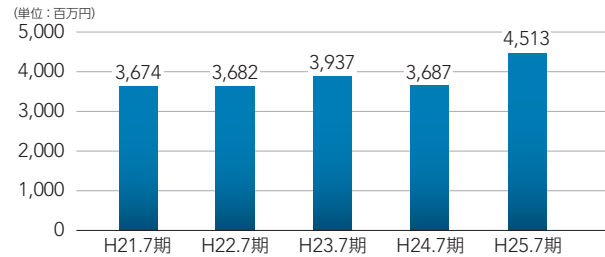
## GP-2000 シリーズ



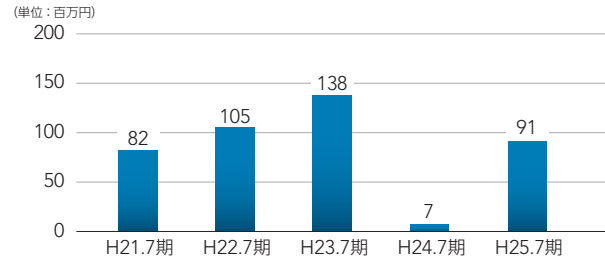
高性能と拡張性を  
備えた汎用給袋自動包装機

新機構の給袋装置が安定した品質と生産性の大幅な向上をもたらします。また、給袋コンベアの微調整部は、ダイヤル式で数値管理が可能。多品種生産の管理が容易になります。多様な袋形態に応じた各種ラインナップと、オプション装置による拡張性も特長です。

売上高



当期純利益

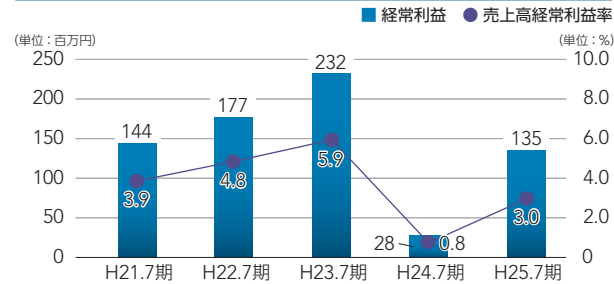


経営成績に関する定性的情報

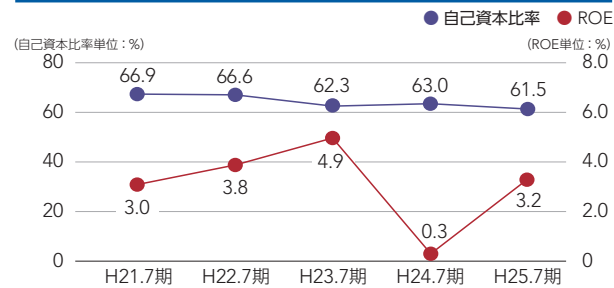
当期におけるわが国経済は、欧州債務危機や新興国経済の減速懸念等により、不透明な状況で推移したものの、政府による諸政策への期待感から、景気は緩やかに持ち直し回復基調で推移いたしました。包装機械業界におきましては、輸出はやや鈍化したものの、国内顧客企業の設備投資需要に改善が見られ、回復傾向で推移しました。このような状況のなか、当社は積極的な新機種開発を推進し、新たなマーケットの開拓、新機種の拡販、海外販売の強化に取り組んでまいりました。

当期における売上高につきましては、国内需要が好調に推移し、高価格の給袋自動包装機及び包装システムの

経常利益／売上高経常利益率



自己資本比率／ROE

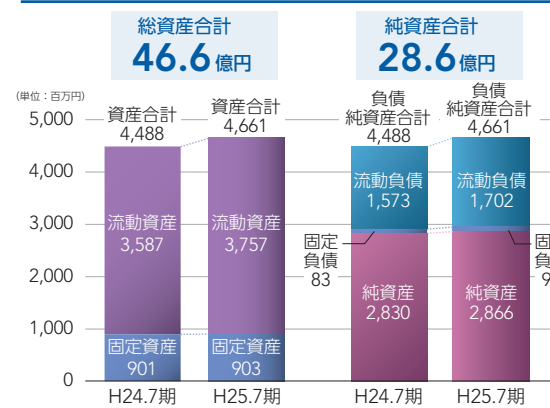


販売実績が増加したことから、前期に対し825百万円の増収となり、過去最高の売上高を達成いたしました。

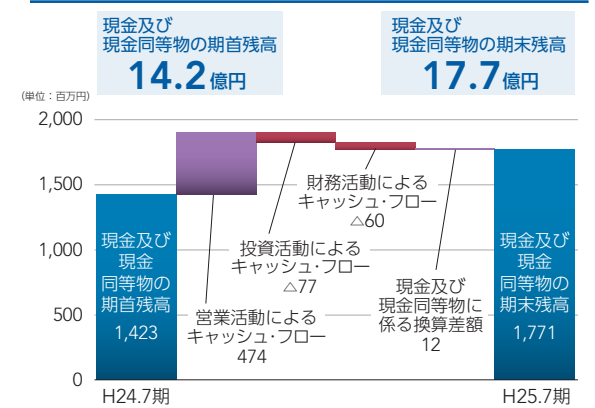
収益面につきましては、売上高の増加に伴い、売上総利益は前期を上回りました。また、営業利益及び経常利益につきましては、研究開発費等の増加に伴い販売費及び一般管理費が前期より増加したものの、増収効果により前期に対し増益となりました。

以上の結果、当期の売上高は4,513百万円（前期比22.4%増）、営業利益は117百万円（前期比198.8%増）、経常利益は135百万円（前期比381.6%増）、当期純利益は91百万円（前期比1,076.0%増）となりました。

財務状況



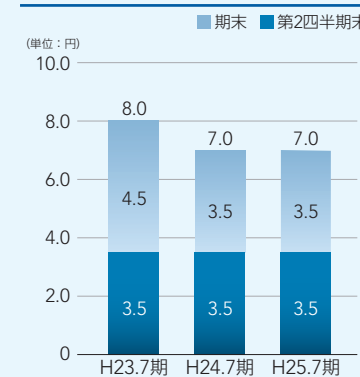
キャッシュ・フローの推移



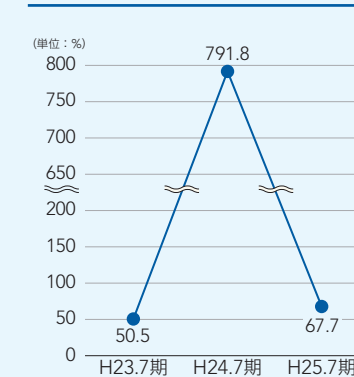
株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向 50%または純資産配当率(DOE) 2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。

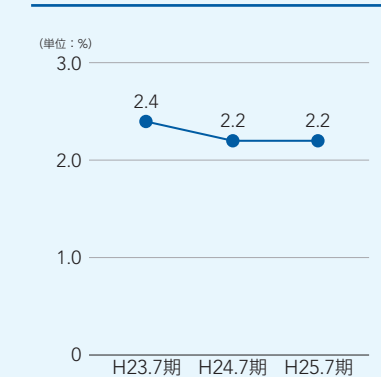
1株当たり配当金



配当性向



純資産配当率 (DOE)

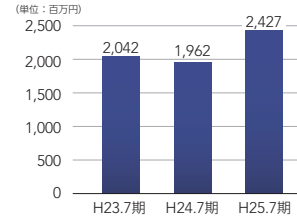


給袋自動包装機 (ガス充填自動包装機含む)

売上高 **2,427** 百万円 前期比23.7%増



給袋自動包装機は、販売台数は前期より減少したものの、高価格機種の実績が増加したことから、売上高は2,427百万円(前期比23.7%増)となりました。

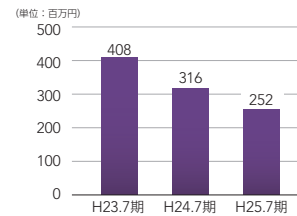


製袋自動包装機

売上高 **252** 百万円 前期比20.2%減



製袋自動包装機は、販売台数が前期より減少したことから、売上高は252百万円(前期比20.2%減)となりました。

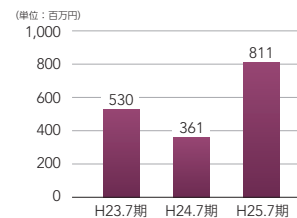


包装関連機器等

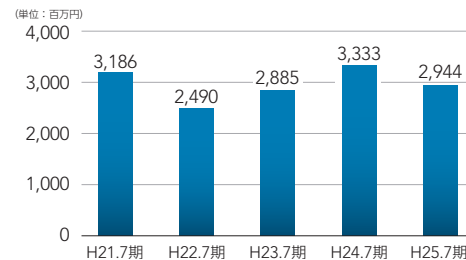
売上高 **811** 百万円 前期比124.7%増



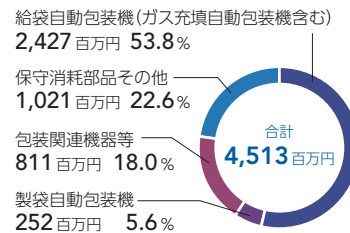
包装関連機器等は、包装システムの販売実績が前期より増加したことから、売上高は811百万円(前期比124.7%増)となりました。



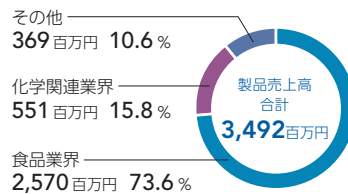
機械受注高



品目別売上高



最終ユーザー業界別売上高



■ 会社概要 (平成25年7月31日現在)

商号	ゼネラルパッカー株式会社
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設立	昭和41年2月(創業 昭和36年12月)
資本金	2億5,157万7千円

事業内容 各種自動包装機・荷造用機械及び周辺装置の製造・販売・修理、それに附随する一切の業務

従業員数 124名

本社・工場  
〒481-8601  
愛知県北名古屋市宇福寺  
神明65番地  
Tel.(0568) 23-3111 (代)  
Fax.(0568) 22-3222



東京営業部  
〒101-0045  
東京都千代田区神田鍛冶町  
三丁目5番地8 神田木原ビル4F  
Tel.(03) 3256-3891 (代)  
Fax.(03) 3256-3893



■ 取締役及び監査役 (平成25年10月25日現在)

代表取締役社長	梅森輝信	
常務取締役	小関幸太郎	管理部 兼 資材部担当
取締役	鈴木完繁	営業本部長
取締役	池田勇次	生産部担当
取締役	牧野研二	開発部長 兼 技術部担当
取締役	濱田兼幸	
常勤監査役	余川善明	
監査役	村橋泰志	
監査役	浅井一郎	

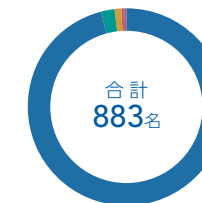
■ 株式の状況 (平成25年7月31日現在)

発行可能株式総数	28,000,000 株
発行済株式総数	8,994,000 株
株主数	883 名

■ 大株主 (平成25年7月31日現在)

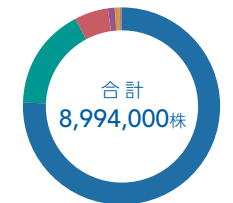
株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
ゼネラルパッカー従業員持株会	1,405,000	15.82
株式会社ワイ・イー・データ	1,350,000	15.20
原 淳	601,000	6.76
株式会社りそな銀行	392,000	4.41
ゼネラルパッカー取引先持株会	377,000	4.24
高野 季久美	364,000	4.09
田中 かな	364,000	4.09
梅森 輝信	223,000	2.51
島末 孝法	196,000	2.20
滑 達彦	140,000	1.57

株主数構成比



個人・その他	847名	95.92%
その他法人	20名	2.27%
証券会社	11名	1.25%
金融機関	3名	0.34%
自己名義	1名	0.11%
外国人	1名	0.11%

株式数構成比



個人・その他	6,797,707株	75.58%
その他法人	1,514,400株	16.84%
金融機関	499,000株	5.55%
自己名義	106,123株	1.18%
証券会社	71,770株	0.80%
外国人	5,000株	0.05%

# IRサイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。  
今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

[http://www.general-packer.co.jp/ir\\_index.html](http://www.general-packer.co.jp/ir_index.html)



## 主なコンテンツ

### 個人投資家の皆様へ

当社の事業内容、事業の特徴、包装機械業界について、配当についてをわかりやすく説明してあります。まずはこちらからご覧下さい。

### 最新IR資料一括ダウンロード

決算短信、決算説明会資料など、最新のIR資料をワンクリックでまとめてダウンロードすることができます。



### ニュースメールにご登録ください

最新のニュースリリース、ホームページの更新情報、IR関連のメールマガジンなどをメール配信するサービスです。(不定期配信)



## 株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日 その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 Tel. (03) 3668-9211 (代)
---------	--

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <http://www.general-packer.co.jp/>

### 各種手続きのお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構（ほふり）をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構（ほふり）をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

## 包装システムのトータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

●本社・工場  
〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地  
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222  
●東京営業部  
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F  
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

